総合型選抜要項

総合型選抜では、選抜日程が全５回あるため、自分のタイミングで受験をすることができます。

出願方法

本学専願者で、学習に高い意欲をもち、本学所定のエントリーカードを提出し、所定の期間内に実施する面談を受けた者で、次のいずれかに該当する者。

(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2023年３月卒業見込みの者。
(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2023年３月修了見込みの者。
(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校または中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2023年３月31日までにこれに該当する見込みの者。

学校推薦型選抜と総合型選抜について

●学校推薦型選抜（指定校）…本学専願者で本学が指定する高等学校を卒業見込みの者で、出身高等学校長の推薦する者。
●学校推薦型選抜（専願公募）…本学専願者で、高等学校卒業後２年以内、出身高等学校長の推薦する者。
●総合型選抜…本学専願者で、音楽指導者・本学卒業生等の推薦する者。

※エントリー期間中、本出願までに学校長の推薦を受けた場合には、学校推薦を優先するものとします。

◆総合型選抜 出願期間・最終選考（選抜日）・合格発表　◆エントリーから合格まで

ステップ１ エントリー期間	2022年９／15（木）～2023年１／27（金）　消印有効　エントリーに際しての提出書類のみ、郵送・持参も可。				
	〈～９/22㈭〉	〈～10/３㈪〉	〈～10/21㈮〉	〈～12/２㈮〉	〈～１/27㈮〉
	※〈　〉内は、ステップ３以降の日程で受験するための目安の期日です。				
ステップ２ 面談期間	2022年９／20（火）～2023年２／３（金）				
	第１回	第２回	第３回	第４回	第５回
ステップ３ 第１次選考発表	９/29㈭	10/21㈮	11/８㈫	12/16㈮	２/３㈮
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ４ 出願期間（消印有効）	10/３㈪～ 10/13㈭	10/24㈪～ 11/10㈭	11/11㈮～ 11/24㈭	12/19㈪～ １/13㈮	２/６㈪～ ２/13㈪
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ５ 最終選考（選抜日）	10/22㈯	11/19㈯	12/３㈯	１/30㈪	２/25㈯
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ６ 合格発表（発送）	11/１㈫	12/１㈭	12/９㈮	２/３㈮	２/27㈪
	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
ステップ７ 入学手続期間	11/２㈬～ 11/18㈮	12/２㈮～ 12/13㈫	12/12㈪～ １/６㈮	２/６㈪～ ２/24㈮	２/27㈪～ ３/10㈮

特典（入学前セミナー）　11月、12月、2月（最大3回）実施

合格者は所定の手続き後、入学時まで、本学教員による実技レッスンや音楽理論、ソルフェージュを定期的に無料で受講できる特典があります。詳細は合格後にお知らせします。（12月は冬期音楽講習会と同時開催）

選考方法・判定基準

面談および書類審査により第一次選考を行います。第一次選考に合格し、出願した者には、最終選考を行います。最終選考は、最終面接及び実技選抜（音楽教育及び音楽療法コース志願者は小論文、音楽ビジネスコースは作文）およびアドミッションポリシーが満たされていることにより合否の判定をします。
※遠隔地の受験希望者に限り、ステップ２（面談期間）において、実技レッスンの相談に応じます。

エントリーに際しての提出書類

提　出　書　類	
エントリーカード（黄色）	本学所定用紙
総合型選抜志望理由書（黄色）	本学所定用紙（エントリーカードの裏面）
総合型選抜推薦書（黄色）	本学所定用紙

※封筒は市販のものをご利用ください。

面談および書類審査について（第一次選考）

①出願までに、１～２回程度の面談を行います。
②書類審査は、「エントリーカード・総合型選抜志望理由書」、「総合型選抜推薦書」に基づいて行います。

出願について（最終選考）

出願期間内に、検定料を納入するとともに出願書類を提出してください。

◆最終選考選抜内容

コ　ー　ス	実　技	作文･小論文	面　接	掲載ページ
ピアノ	●（100点）		●	P.13
管楽	●（100点）		●	
弦楽	●（100点）		●	P.14
打楽	●（100点）		●	
邦楽	●（100点）		●	P.15
声楽	●（100点）		●	
ミュージカル	●（100点）		●	
作曲・音楽クリエイション	●（100点）		●	P.16
電子オルガン	●（100点）		●	
ジャズ・ポピュラー	●（100点）		●	P.17
音楽教育		●（100点）	●	
音楽療法		●（100点）	●	
音楽総合	●（100点）		●	
音楽ビジネス		●（100点）	●	

※面接＝Ａ・Ｂ・Ｃ判定

各コース別 総合型選抜 実技選抜課題

すべての実技選抜において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノコース

①実技

※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲（1）～（8）より任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲　　目	作　曲　者
(1)	50番練習曲　Op.740	Czerny
(2)	60番練習曲　Op.365	Czerny
(3)	60　Etudes	Cramer=Bülow
(4)	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
(5)	24　Studies for the piano　Op.70	Moscheles
(6)	15　Etudes　Op.72	Moszkowski
(7)	12　Etudes　Op.10	Chopin
(8)	12　Etudes　Op.25	Chopin

※(7) Op.10 №6　(8) Op.25 №7 を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※上記課題曲Ⅰの（1）～（8）は除く。自作曲は除く。

②面接

管楽コース

①実技

■フルート　■オーボエ　■クラリネット　■バス・クラリネット　■ファゴット
■サクソフォーン（ソプラノ、アルト、テナー、バリトン）
任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。
※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

■ホルン　■トランペット　■トロンボーン　■バス・トロンボーン　■ユーフォニアム　■テューバ
(1) ２オクターブの音階：任意の長音階とアルペジオを１つ演奏する。（譜例 P.50参照）
(2) 任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

②面接

弦楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) C. Flesh：Scale System より C dur No.5を冒頭から 9 小節まで演奏する。
- テンポ♩＝69前後で演奏すること。
- ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
- Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。
- エチュード、自作曲は除く。

■ヴィオラ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.51) のとおり音階を演奏する。
- 任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■チェロ　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.51) のとおり音階を演奏する。
- 任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■コントラバス　※楽譜は見てもよい。

(1) 音階：譜例 (P.51) に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を 1 つ演奏する。
- 譜例のリズム型で演奏し、2 オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

(2) 任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

■ハープ　※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。

(1) N.Ch. Bochsa の練習曲より任意の 1 曲を演奏する。
- Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

②面接

打楽コース

①実技

※伴奏はなし。

■マリンバ　※いずれも暗譜で演奏のこと。

(1) Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、Ⅻ、Ⅻ、Ⅻ、Ⅻより任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。

(2) 任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

■小太鼓　※楽譜は見てもよい。

(1) 1 つ打ち、2 つ打ち、5 つ打ち、7 つ打ち、9 つ打ちより、当日、本学が指定する。

(2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

②面接

邦楽コース

①実技

■箏　　西山検校「秋の言葉」を暗譜で演奏する。
但し基音はＣ＝１　Ｄ＝１どちらでも可とする。

■三味線（長唄三味線）
初代　杵屋六翁「松の緑」（前弾き）を暗譜で演奏する。

■尺　八　　一尺八寸管（Ｄ管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。
(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を冒頭のみ演奏する。（譜例 P.51参照）
(2) 吉沢検校「千鳥の曲」前弾合奏部を演奏する。
(3) 任意の独奏曲を２分程度で演奏する。

②面接

声楽コース

①実技

任意の声楽曲１曲を演奏する。
※暗譜で歌うこと。
(1) 原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）
(2) アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）
（注）**ピアノ伴奏譜**（P.７の⑤参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②面接

ミュージカルコース

①実技

■ヴォーカル　３分程度の曲を１曲演奏する。
ミュージカルの曲を選曲し、原語または日本語で歌う。
もしくはイタリア古典歌曲集より選曲し、原語で歌う。
（注）・ピアノ伴奏譜（P.７の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・暗譜で歌うこと。

②面接

作曲・音楽クリエイションコース

下記のＡまたはＢより選択して受験する。

A

①実技

（1）編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。

・出願書類に同封のこと。
・提出された楽譜は返却しない。

（2）口頭試問

②面接

B

①実技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

・出願書類に同封のこと。
・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
・曲の長さは７分以内とする。
・提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

（2）口頭試問

②面接

電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード５級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を１曲演奏する。

※暗譜で演奏すること。

・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ）。
・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリーで用意すること。
・MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード５級取得者は実技選抜が免除されます。

※上記のグレード５級取得者は出願時に**合格証書のコピー**（P. 7 の⑦参照）を同封してください。（実技選抜の免除を希望する場合のみ）
・実技選抜が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②面接

ジャズ・ポピュラーコース

①実技

■ピアノ
■ドラム
■ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）
■サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）
■トランペット
■トロンボーン
下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。
(1) 任意の1曲をマイナスワン音源を使用し演奏する。
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。
(2) Moritat（Bertolt Brecht / Kurt Weill）を演奏する。
・楽譜および音源は、本学に請求してください。
請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター（フリーダイヤル0120-115-796）
■ヴォーカル
任意の1曲を演奏する。
・演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】
・マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②面接

音楽教育コース

①小論文

1000字程度（P.60例題参照）。
選抜時間は90分。

②面接

音楽療法コース

①小論文

1000字程度（P.60例題参照）。
選抜時間は90分。

②面接

音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。
・声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.7の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
・伴奏者同伴の必要はなし。
・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②面接

音楽ビジネスコース

①作文

800字程度（P.60例題参照）。
選抜時間は90分。

②面接